

# 留 学 報 告 書

記入日：2023年8月28日

出身国	タイ
出身大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 人文学部 (英) Srinakharinwirot University Faculty of Humanities
明治大学での留学期間	2022年09月~2023年07月

日本に留学しようと思った理由	子供の頃からアニメを見るのが好きで、それが日本語を学びきっかけになりました。日本語を学んだので、一度日本で留学をしてみたいと思いました。他に大学生活は4年間ぐらいしかないので、できればたくさんのいい経験をしたいと思ったからです。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	理由は明治大学が有名だからです。そして、先輩もお勧めして、大学も東京にあるので外国人にとって交通や生活が安心だと思いました。また、情報コミュニケーション学部は面白そうな科目がたくさんあり、私の興味に合った科目が必ずあると思ったからです。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	日本人のクラスメイトはフレンドリーで親しみやすく、とても楽しく学ぶことができました。私が勉強したゼミでは、毎週みんなが順番に興味のあるテーマを発表しました。みんなが選んだテーマは興味深く、友達とディスカッションを交わしました。
宿舎の雰囲気	□和泉 IH □狛江 IH □グローバル・ヴィレッジ <input checked="" type="checkbox"/> その他 私は友達と一緒に自分でアパートをレンタルしました。永福町駅と方南町駅の間にあり、駿河台キャンパスに行ったら40分ぐらいかかりますが、それほど大変ではなかったです。2つの駅の間にあるので、どこへも行くのも簡単でした。また、渋谷で時々カラオケをしに行きました。
交友関係	同じ留学生同士で仲良くなり、いろいろな異文化を交換しました。例えば、車のハンドルが左右で違ったり、アメリカ人は気温を華氏と呼ぶが、タイ人や日本人は摂氏を使います。日本人の友達に関しては少なかったですが、みんな親切でした。
学習内容・勉強について	この学部では1科目を受講しました。日本人と一緒に勉強するのは、授業のスピードについて行くのが難しく、まだまだ知らない単語が多くて、私には難しすぎるからです。しかし、1年間の交換留学を終えて、自分の日本語力はかなり向上したことを感じました。
課題・試験について	試験には十分な準備期間を与えてくれます。私が勉強した科目に関しては、試験はありませんでしたが、自分の興味について調べ、クラスメイトに発表しました。その後、意見を交換するためのディスカッションがありました。そうすることで、他の人が見落としているような考えや視点を発見でき役立つと思います。

大学外の活動について	タイに交換留学に行く日本人の友達にタイ語を教えるボランティアをしました。週1回、友達のタイ語の宿題を手伝ったり、タイ語のわからない質問に答えたりしました。また、週に2日はタイ料理店でアルバイトをしました。このアルバイトで、日本人は思っていた以上にタイ料理が好きだとわかりました。
ある平日のスケジュール	8時：起床、9～12時：昼食、15～17時：授業、19～22時：自由時間（宿題や勉強）
ある休日のスケジュール	12時：起床、13～14時：昼食、15～17時：自由時間（宿題や勉強）、19～22時：自由時間（休む）
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	日本での1年間の交換留学のおかげで、家族のいない場所で、知らない場所や人との出会いにたくさん囲まれながら生活することになりました。その結果、私はよりフレキシブルな人間になりました。もし、新しいアイデアや新しい仕方を受け入れなければ、開発、学習、成長のチャンスを失うことになるかもしれません。
私の時間割	時間割を公開します。

秋学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限		日本語5 (総合)		日本語5 (総合)	日本語5 (総合)	
2限						
3限						
4限						
5限				問題解決 ゼミナールⅡ		
6限						
春学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限		日本語6 (総合)		日本語6 (総合)	日本語6 (総合)	
2限				日本語6 (文章表現)		
3限						
4限						
5限				問題解決 ゼミナールⅠ		
6限						

留学中の様子

